

2012 年 7 月 31 日

株式会社産業革新機構、
株式会社クレハ、伊藤忠商事株式会社および株式会社クラレとともに、
株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、株式会社クレハ（以下「クレハ」）（東京都中央区、代表取締役社長 岩崎隆夫）の子会社でリチウムイオン二次電池（以下、「LiB」）用材料を取り扱う株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン（以下、「KBMJ 社」）（東京都中央区、代表取締役社長 中谷 秀雄）の第三者割当増資を引受け、総額 100 億円を上限とする投資を行うことを決定しました。また、KBMJ 社は、INCJ に対する今回の増資とあわせて、クレハ、伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」）（東京都港区、代表取締役社長 岡藤 正広）及び株式会社クラレ（以下、「クラレ」）（東京都千代田区、代表取締役社長 伊藤 文大）に対して、合計 100 億円を上限とした第三者割当増資も行う予定です。

世界の LiB 市場は、PC/スマートフォン等の民生用中心の市場から、ハイブリッド自動車を中心に急速に普及している電動車両向けの車載用市場に現在大きく拡大しつつあります。

2011 年 10 月、KBMJ 社は、LiB 用ハードカーボン負極材「カーボトロン®P」の製造・販売及び LiB 用バインダーの販売を行うことを目的とし、クレハと伊藤忠商事の合併会社として営業を開始しました。その後 2011 年 12 月、クレハとクラレは植物由来原料の LiB 用ハードカーボン負極材「バイオカーボトロン」の共同事業化に向けて合意しました。こうした協議を通じて、クレハと伊藤忠商事は、KBMJ 社を今後の成長著しい LiB 用材料分野において、各社の強みを持ち寄り独自の地位を築くことを目指してまいりました。

KBMJ 社は、既に世界 No.1 シェアを有する LiB 用のバインダーの販売に加え、クレハ/クラレと共に、従来の石油由来原料にとどまらず、より環境に配慮した植物由来原料を有効活用したハードカーボンを開発し、車載用に適した性能と価格競争力を有する LiB 用ハードカーボン負極材の事業化を加速させ、今後大きく拡大する可能性を有する車載用市場におけるデファクトスタンダードの確立を目指します。

INCJ は、クレハ、伊藤忠商事、クラレの技術やノウハウを持ち寄り、オープンイノベーションを実現している KBMJ 社に対して、必要資金を提供するとともに、社外

取締役の派遣、開発協力体制の構築等の経営面でのサポートを行います。

株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン(KBMJ 社)について

商号	株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン (Kureha Battery Materials Japan Co.,Ltd.)
設立	2011 年 4 月
事業内容	リチウムイオン電池用負極材の製造・販売及び リチウムイオン電池用バインダーの販売
本社所在地	東京都中央区日本橋浜町 3 丁目 3 番 2 号
代表者	中谷 秀雄 (株式会社クレハ専務執行役員電池材料事業部長)
URL	http://www.kureha-battery.co.jp/

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 27 件・総額約 4,000 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整室 小林・檜山・望月・松島
東京都千代田区丸の内 1-6-5
丸の内北口ビル 21・22 階
電 話 : 03-5218-7200 (大代表)